

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和4年1月31日(2022.1.31)

【公開番号】特開2020-143758(P2020-143758A)

【公開日】令和2年9月10日(2020.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2020-037

【出願番号】特願2019-42155(P2019-42155)

【国際特許分類】

F 16 D 43/10(2006.01)

10

F 16 D 13/52(2006.01)

F 16 H 55/56(2006.01)

F 16 H 9/18(2006.01)

【F I】

F 16 D 43/10

F 16 D 13/52 C

F 16 H 55/56

F 16 H 9/18 Z

【手続補正書】

20

【提出日】令和4年1月21日(2022.1.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

[ウェイト部材6]

ウェイト部材6は、カム部材3とともに回転して遠心力を受けるように配置されている。

詳細には、ウェイト部材6は、カム部材3の収容部34内に収容されている。なお、複数のウェイト部材6は、周方向に間隔をあけて配置されている。ウェイト部材6は、円柱状である。ウェイト部材6は、その外周面が第1カム面31と当接するように配置されている。このため、ウェイト部材6は、遠心力が作用すると、径方向外側且つ軸方向の第1側に移動可能である。ウェイト部材6は、クラッチ部5を軸方向の第1側に押圧するように構成されている。過剰なトルクが入力されたとき、ウェイト部材6は、径方向外側に移動して規制部32と当接する。このようにウェイト部材6が規制部32と当接すると、それ以上の押圧力がクラッチ部5に掛からない。

30

40

50